

平成24年3月期 第2四半期決算説明資料

平成23年11月15日



イムケ-精工株式会社

平成24年3月期 第2四半期の決算概要

平成24年3月期 第2四半期の総括

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により経済活動の停滞を余儀なくされたものの、サプライチェーンの復旧や復興需要の高まりにより、景気持ち直しの動きも見受けられるようになりました。しかしながら、原子力災害の長期化による影響、さらに歴史的な円高水準や欧米景気の減速など懸念材料も多く、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループ関連業界におきましては、東日本大震災に伴う需要減少や設備投資抑制が懸念されておりましたが、一部では徐々に回復の兆しが見られるようになってまいりました。もっとも、設備投資の回復状況には業種や規模によってばらつきがあり、また、厳しい雇用情勢や所得環境の低迷などを背景に消費マインドの回復にはまだ時間を要すると思われ、経営環境はなお予断を許さない状況が続いております。

こうした状況のもと、当社グループにおきましては、多様化する顧客ニーズと環境問題に配慮した高付加価値商品の研究開発に注力するとともに、各事業部門における採算管理の徹底および経営全般にわたる合理化、効率化施策を継続して推進し、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、87億8千6百万円(前年同期比14.6%増)、営業利益は3億8千1百万円(前年同期は3億7千4百万円の営業損失)、経常利益は3億4千6百万円(前年同期は4億7百万円の経常損失)、四半期純利益は3億2千4百万円(前年同期は3億7千2百万円の四半期純損失)となりました。

平成24年3月期 第2四半期の業績

<連結業績>

単位:百万円

	23年9月期	22年9月期	対前期比
売上高	8,786	7,667	14.6
営業利益又は営業損失(△)	381	△374	—
経常利益又は経常損失(△)	346	△407	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	324	△372	—

平成24年3月期 第2四半期連結貸借対照表

単位:千円

	23年9月期	22年9月期	増減額
(資産の部)			
流動資産	11,619,009	11,630,988	△11,978
現金及び預金	1,402,847	1,369,812	33,034
受取手形及び売掛金	4,587,884	4,117,404	470,480
たな卸資産	5,358,215	5,921,640	563,424
その他の流動資産	270,061	222,130	47,930
固定資産	9,860,430	10,532,782	△672,352
有形固定資産	6,556,892	6,958,454	△294,145
無形固定資産	1,747,783	1,885,500	△137,717
投資その他の資産	1,555,754	1,688,826	△133,072
繰延資産	2,423	542	1,881
資産合計	21,481,863	22,164,312	△682,449

平成24年3月期 第2四半期連結貸借対照表

単位:千円

	23年9月期	22年9月期	増減額
(負債の部)			
流動負債	11,891,845	11,869,741	22,103
支払手形及び買掛金	1,294,553	1,081,006	213,546
短期借入金	7,750,836	8,061,115	△310,279
未払金	2,454,438	2,213,939	240,498
その他の流動負債	392,017	513,680	△121,662
固定負債	2,773,759	3,324,700	△550,940
長期借入金	2,242,282	2,949,196	△706,914
その他の固定負債	431,477	375,504	55,973
負債合計	14,665,604	15,194,441	△528,837

平成24年3月期 第2四半期連結貸借対照表

単位:千円

	23年9月期	22年9月期	増減額
(純資産の部)			
株主資本	7,479,217	7,503,392	△24,174
資本金	3,373,552	3,373,552	-
資本剰余金	2,951,143	2,951,143	-
利益剰余金	1,664,643	1,688,790	△24,147
自己株式	△510,121	△510,094	△27
評価・換算差額等	△662,959	△533,521	△129,437
その他有価証券評価差額金	△288,189	△253,903	△34,286
繰延ヘッジ損益	△9,369	△3,240	△6,128
為替換算調整勘定	△365,399	△276,377	△89,022
純資産合計	6,816,258	6,969,870	△153,611
負債純資産合計	21,481,863	22,164,312	△682,449



平成24年3月期 第2四半期連結損益計算書

単位：千円

	23年9月期	22年9月期	増減額
売上高	8,786,362	7,667,389	1,118,972
売上原価	6,120,520	5,495,284	625,235
売上総利益	2,665,841	2,172,105	493,736
販売費及び一般管理費	2,284,583	2,546,926	△262,342
営業利益又は営業損失(△)	381,258	△374,821	756,079
営業外収益	67,053	82,284	△15,230
営業外費用	102,109	114,976	△12,866
経常利益又は経常損失(△)	346,202	△407,512	753,715
特別利益	13,124	18,423	△5,298
特別損失	1,483	15,791	△14,308
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	357,844	△404,880	762,724
法人税等及び法人税等調整額	33,061	△32,297	65,359
当期純利益又は当期純損失(△)	324,782	△372,582	697,365

平成24年3月期 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

	23年9月期	22年9月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△171,047	△770,660	△599,613
投資活動によるキャッシュ・フロー	66,868	△144,879	△211,748
財務活動によるキャッシュ・フロー	162,659	904,582	741,922
現金及び現金同等物に係る換算差額	△414	△1,137	△723
現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	58,066	△12,095	△70,162
現金及び現金同等物の期首残高	286,483	323,614	37,131
現金及び現金同等物の期末残高	344,549	311,518	△33,030

平成24年3月期 第2四半期連結株主資本等変動計算書

単位:千円

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成23年3月20日残高	3,373,552	2,951,143	1,339,861	△510,121	7,154,435
当連結会計年度中の変動額					
当期純利益			324,782	-	324,782
自己株式の取得					-
株主資本以外の項目の当連結 会計年度中の変動額(純額)					
当連結会計年度中の変動額 合計	-	-	324,782	-	324,782
平成23年9月20日残高	3,373,552	2,951,143	1,664,643	△510,121	7,479,217

平成24年3月期 第2四半期連結株主資本等変動計算書

単位:千円

	評価・換算差額等				純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等 合計	
平成23年3月20日残高	△271,694	△2,245	△353,046	△626,986	6,527,448
当連結会計年度中の変動額					
当期純利益					324,782
自己株式の取得					-
株主資本以外の項目の当連結 会計年度中の変動額(純額)	△16,495	△7,124	△12,353	△35,972	△35,972
当連結会計年度中の変動額 合計	△16,495	△7,124	△12,353	△35,972	288,809
平成23年9月20日残高	△288,189	△9,369	△365,399	△662,959	6,816,258

セグメント別分析

■ オート機器事業

東日本大震災直後は一時的に部品調達難に伴う生産への影響があったものの、主要取引先であるSS業界において、一部で門型洗車機の買い替え需要が発生し比較的順調に売上を伸長したことに加え、節水・節電に対応した省エネタイプの新製品の発売および提案型営業の推進が奏功し、売上高は前年同期比21.4%増の51億5百万円となりました。



門型洗車機「G-FOUR ジーフォー」

■ 情報機器事業

東日本大震災および原発事故により、アミューズメント業界におきましては自粛ムードや節電意識の高まりによる影響を受け、民需用小型定番およびフルカラー表示機は苦戦いたしました。昨年度受注した官需案件の売上が寄与し、売上高は前年同期比33.4%増の12億6千5百万円となりました。



道路用表示システム

セグメント別分析

■ 生活機器事業

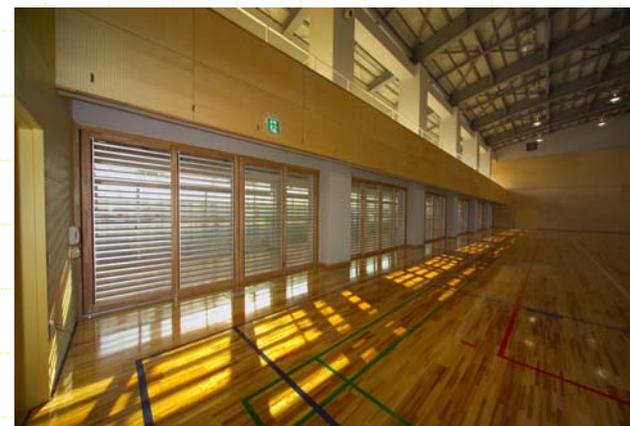
個人消費の低迷が長引き、事故による風評被害や台風、大雨など風水害等による農家および農産物への影響が懸念される中、主力商品の農産物低温貯蔵庫をはじめとする農家向け商材が堅調に推移したものの、売上高は前年同期比1.1%減の20億2千6百万円となりました。

■ 住設機器事業

主に子会社の株式会社ニューストが行う事業で、木・アルミ複合サッシおよび反射式消音装置の製造・設置が主な事業であります。公共投資の減少や東日本大震災の影響などにより依然として低水準で推移しておりますが、徐々に引き合い・受注が増えつつあるものの、売上計上のずれ込みにより、売上高は、前年同期比17.9%減の3億1千2百万円となりました。



農産物低温貯蔵庫



木・アルミ複合防球格子建具
(ボールガード)の施工例

セグメント別分析

■ その他の事業

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンプラザホテル」の運営事業および保険代理業、不動産管理・賃貸業などであります。

ホテル業は、業者間の競争激化が常態化する中、東日本大震災に端を発した自粛ムードが重なり、依然として厳しい経営環境となっております。その結果、売上高は前年同期比6.4%減の7千7百万円となりました。



長野リンデンプラザホテル

平成24年3月期 業績・配当予想

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

平成24年3月期の業績予想

<連結業績>

単位：百万円

	24年3月期(予想)	23年3月期(実績)	対前期比
売上高	19,000	16,761	13.4%
営業利益	650	△488	-
経常利益又は経常損失(△)	550	△559	-
当期純利益又は当期純損失(△)	500	△721	-

平成24年3月期の配当予想

当社は株主の皆様への適切な利益還元を重要な政策と位置づけ、財務体質の強化を図りつつ業績を加味した利益還元を実施していくことを基本方針としております。

前回発表時におきましては、当社グループを取り巻く環境が厳しく、加えて東日本大震災の影響により先行き不透明な状況であることから、期末配当金は未定としておりましたが、平成24年3月期の業績が前回予想数値を上回る見込みであるため、1株当たり5円とさせていただきます。

詳細につきましては、平成23年11月2日付にて公表しました「平成24年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

<1株当たり年間配当金>

	1株当たり年間配当金
平成24年3月期(予想)	5円00銭
平成23年3月期(実績)	0円00銭

參考資料

当社の経営方針・中長期的な経営戦略

■ 今後の経営方針

当社グループは、「消費者の求める商品・サービス」を提供することにより社会に貢献することを経営理念とし、開発から製造・販売までの一貫体制による「自社考案と自社販売」を基本方針として研究開発型企業を志向しております。

従来のオート機器・情報機器・生活機器の3分野に住設機器を加えた4分野を基軸に、お客様のニーズに対応してまいり所存であります。

■ 中長期的な経営戦略

当社グループは、長期的な安定成長を確保するため、全体最適を優先した経営の効率性と収益性を重視した経営改革に取り組んでおります。

“Back to the Future”(将来のある時点のあるべき姿を実現するために現在為すべきことはなにか)をキーワードに、当社発展の源泉であります新商品開発を軸にしたアクションプログラムを策定して、全社的活動を推し進めております。

また、事業部門別の採算管理を徹底し、コストの最適化および事業責任の明確化を図ることで、収益力の向上とともに、強靱かつ筋肉質な経営体質の構築を推し進めてまいります。

研究開発活動

原材料費の値上がりや円高基調が続く中、市場はデフレ傾向が継続しており、また、震災による消費動向への影響など当社を取り巻く環境は厳しい状態が続いています。このような社会状況の中で、市場の変化、技術の変化を感度良く取り入れ、環境問題に配慮した研究開発の実践が求められています。当期も引き続き「フュージョン・テクノロジーで未来へ」を合い言葉に、「メカトロニクス技術」と「情報通信・処理技術」をコアテクノロジーとした高付加価値商品の研究開発を基本方針として、研究開発活動を次のとおり進めてまいりました。

■ オート機器事業

門型洗車機ではセルフタイプのドライブスルー式高機能機種を開発しました。この新機種で新たに開発したノズルと新センサーシステムの組み合わせにより、1ウェイ洗車時の課題であった水滴残りが格段に減少し、乾燥性能が向上しました。また、洗浄性と静粛性を兼ね備えた車体に優しい新布ブラシの開発をはじめ、環境に配慮した商品開発を進めました。

その他の整備機器では、低温下でも交換作業ができるエアコンガスクリーニング充填機にプリンターシステムを搭載し、機能拡張を図りました。さらに、整備工場向けに狭い敷地でも設置が可能となるコンパクトな門型洗車機を開発するなど、効率よい作業環境を求め市場ニーズに対応しました。

研究開発活動

■ 情報機器事業

当期も公官需向け製品開発に注力し、高速道路や一般道の道路管理者向け道路情報板システムと機器の開発を継続しています。さらに、規制用途の情報板システムと機器の開発も着手し、多くの案件に対応が可能となるよう機種およびシステムの多様化を図っています。また、前期から継続して駐車場誘導表示システム、道路冠水情報板等の開発を進めました。

民需向け表示機では、多階調技術を取り入れたコストパフォーマンスの高い2色表示機を開発しました。また、工事関連、道路維持管理向け表示機では、CO2削減と省エネに寄与する太陽電池を電源としたLED表示機や灯器を中心に新機種の開発を継続し、市場導入を進めています。

研究開発活動

■ 生活機器事業

農家向け商材の農産物低温貯蔵庫シリーズでは、一部板金の樹脂化による軽量化と冷却効率向上を図った小型タイプの開発を進めました。また、多様化するニーズに応えるため、大型低温貯蔵庫用の庫内棚と軒下設置用オプションの開発を行い、市場に導入します。

調理家電では、100%米粉を使ったパンが焼け、フレッシュバターを作るコースを備えた1.5斤タイプのホームベーカリーを開発し市場導入しました。

収納関連では電子レンジ置き台全機種においてモデルチェンジを行い、市場に導入しました。

■ 住設機器事業

主力商品である木・アルミ複合断熱サッシにつきましては、市場ニーズに合わせ枠のスリム化による意匠性の向上と採光面積の拡大を実現するための新製品の開発に着手いたしました。

また、第2の柱である反射板式消音装置につきましては、既存製品の改良により品質の向上とコスト削減を目的に開発を継続しております。

新製品情報

■ オート機器

【 全自動 カーエアコン フロンガスクリーニング 「エアコンフレッシュ AF-3000Z」 】

カーエアコンのフロンガスを純度の高いガスに再生します。フィルターを通して水分やスラッジを除去し全自動で再充填をします。加圧液体充填方式を採用したことにより、従来は夏場に限られていた作業(真空引き充填)が低温時にも可能になり、年間を通じて行えるようになりました。

また、エンジンの起動が不要になり、カプラ接続後にスタートボタンを押すだけの簡単な操作で使用が可能になりました。



新製品情報

■ 情報機器

【 店舗向けYB表示機 】

店舗向けフルカラー表示機は、発売当初から高い評価を得ていますが、低価格志向の市場に応えYBタイプをリリースしました。

表示色はY(黄色LED)、B(青色LED)の各32階調で1,024色の表示を可能にし、フルカラー表示に匹敵するツインカラー表示機としました。パネルの大きさは読みやすい400mmを使用し、表示文字数は3文字としました。

さらに、省電力のエコモード表示機能を搭載し、環境に配慮した表示機としました。表現の豊かさ、省エネ表示機として様々な活用シーンに対応する商品仕様となっております。



新製品情報

■ 生活機器

【 自動ホームベーカリー「ふっくらパン屋さん」HBK-150 】

「ねり」「発酵」「焼き」の各単独メニューが付きで、手軽にお好みのオリジナルパンを作ることができる高機能な1.5斤タイプの自動ホームベーカリー。

通常的小麦粉パンはもちろんのこと、グルテン入りとグルテンなしの2種類の米粉100%パン、天然酵母パンや残りごはんを使ったパンも楽しめますし、市販の生クリームを使ってフレッシュバターを作ることができます。

操作も簡単で、初心者から上級者まで幅広い方々にお使いいただける機種となっております。



株主優待制度のご案内

株主優待制度の内容

当社のグループ会社で運営する長野リンデンプラザホテル(長野市南千歳町)の宿泊優待券(5,800円相当)を贈呈いたします。

発行基準

宿泊優待券は、毎年3月20日現在、所有株式数1,000株以上の株主様に対し、次のとおり発行いたします。

ご所有株数	ご優待券
1,000株 ~ 1,999株	2枚
2,000株 ~ 3,999株	3枚
4,000株 ~ 9,999株	4枚
10,000株以上	6枚

発行日

定時株主総会后、決議通知に同封いたします。

有効期限

発行年の翌年6月30日まで。



長野リンデンプラザホテル



本資料に関するお問い合わせ

工ムケー精工株式会社

経理本部 IR担当 竹内

TEL : 026-272-2819

E-mail : takeuchi_k@hq.mkseiko.co.jp